

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

2015 SGH通信

【1年生配布用】
No19 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

【半年間の振り返り】

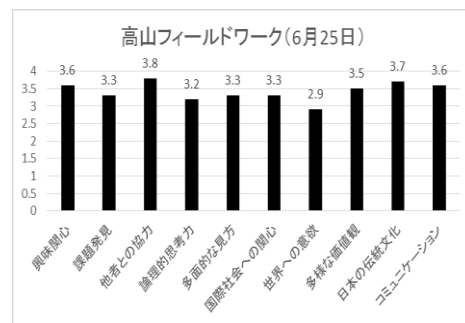
「SGH」では、半年間でどのような力が付きましたか？

【飛騨高山フィールドワーク】



【入門講座】編

これから「SGH課題研究」を学んでいくための基礎となる「情報スキル・情報モラル」、持続可能な社会を実現するために活躍している研究者と実践家からの講義、そしてコミュニケーションの基礎となる言語技術を学んだ後、飛騨高山へのフィールドワークを行い、教室で学んだインタビュー等の調査手法を実践しました。



【グローバル課題発見講演会】



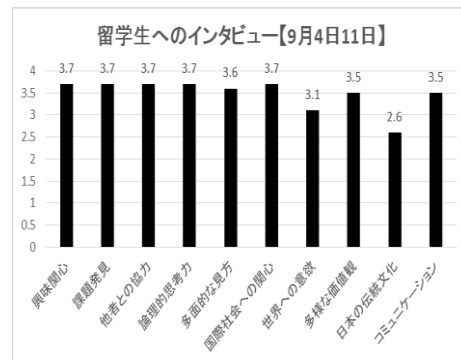
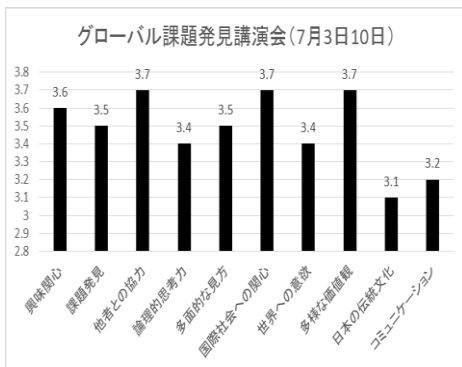
【課題発見期】編

7月から9月は、「グローバル課題発見期」として、多角的なものの見方・考え方を身に付けることを目的として、「課題研究」を行いました。7月は、企業講演会で4社の担当者から企業のグローバル化に関するお話をお聞きし、8月の夏休み中に、ジャンジグレル著『世界の半分が飢えるのはなぜ？』（合同出版社）を読んで、グローバル化の時代の闇の部分を感じました。そして、9月には、飢餓などのグローバル課題に関して、インドネシア・マレーシア・フィリピン等計10か国の留学生から、1グループ5名で、2週間にまたがって2回のインタビューを行いました。現地の人々との触れ合いが、大切な情報源となることを、身をもって感じる事ができる機会となりました。また、自らの英語力の拙さを思い知らされる機会ともなりました。9月後半には、「我々日本人が、東南アジアの人々と共生するために、何を解決していく必要があるのか？」をタイトルにして、1200字以下の日本語エッセイを完成させました。今まで考えたことのなかったアジアの一員としての使命を考える良い時間となりました。

【留学生へのインタビュー】



【日本語エッセイ作成】



後期はどのようなことに取り組むのですか？

| H27年度大垣北高校 「SGH課題研究1」(1年生)年間指導計画(後期分) | | | | | | | 平成27年10月16日現在 |
|---------------------------------------|---|----------|------------------|----------------------------------|------|----------------|-------------------------------------|
| 月 日 | 曜 | 学校行事等 | SGH課題研究 I | | | | 外部連携・備考 |
| | | | タイトル | 内 容 | 時 | 主担当 | |
| 10月2日 | 金 | | | ユニセフ統計資料活用講座 | | | ユニセフ |
| 10月2日 | 金 | | 論文作成入門講座 I | 言語技術 論文作成ガイダンス・練習 | 1 | 国語担当 | ゼミ室 (3展開) |
| 10月16日 | 金 | 大掃除 | | 言語技術「意見のパラグラフ」完成と相互評価 | 2 | 国語担当 | |
| 10月23日 | 金 | | 5領域入門講座 | ◇国際開発分野 ◇比較教育分野 | 2 | 正副担任 | 名古屋大学・岐阜大学・名古屋外国語大学・名古屋医療センター |
| 10月30日 | 金 | ふるさと教育週間 | | ◇環境・エネルギー分野 ◇国際医療分野 ◇国際ビジネス分野 | 2 | | |
| 11月6日 | 金 | コース仮登録 | 論文作成入門講座 II | 言語技術の習得 描写・説明 | 2 | 国語担当 | つくば言語技術教育研究所 |
| 11月13日 | 金 | 2年学年育友会 | | グループ課題の設定 研究計画書作成 | 2 | 正副担任 | |
| 11月20日 | 金 | | | 問いの立て方・日本語論文骨子作成 | 2 | 国語担当 | |
| 12月4日 | 金 | | 課題研究 1-4 (課題探求期) | 留学生へのインタビューの実施 | 2 | 正副担任 | 外部T A (留学生) |
| 12月11日 | 金 | 大掃除 | | リサーチクエストの立て方 | 2 | 正副担任 | 外部T A (日本人大学院生) |
| 12月16日 | 水 | 三者懇談 | | 岐阜大学応用生物科学部訪問 | 0 | SGH推進 | 岐阜大学応用生物科学部 |
| 12月18日 | 金 | 三者懇談 | | 岐阜大学工学部訪問 | 0 | SGH推進 | 岐阜大学工学部 |
| 12月18日 | 金 | 午前授業 | | 調査・日本語論文の作成 | 2 | 正副担任 | PC室 |
| 12月19日 | 土 | | | Go Global Janan Expo参加 | | SGH推進 | 関西学院大学 |
| 12月20日～ | | | | 海外フィールドワーク | 0 | SGH推進 | カンボジア・ベトナム |
| 1月15日 | 金 | センター前日 | | 日本語論文の完成※1 | 2 | 正副担任 | PC室 |
| 1月22日 | 金 | 進学会議 | | 英語エッセイ作成① | 2 | 英語担当 | 外部T A 名古屋大学外国語大学 岐阜大学国際交流センター |
| 1月29日 | 金 | 大掃除 | | 英語エッセイ作成② | 2 | 英語担当 | |
| 2月5日 | 金 | | | 英語プレゼン作成① | 2 | 英語担当 | |
| 2月12日 | 金 | | | 英語エッセイ作成③ | 2 | 英語担当 | |
| 2月19日 | 金 | | | 英語エッセイ作成④ | 2 | 英語担当 | |
| 2月26日 | 金 | | | 英語プレゼン作成② | 2 | | |
| 3月18日 | 金 | 特編授業 | クラス別発表会 | 3 | 正副担任 | 1時間は準備、2時間は発表会 | |
| 3月22日 | 火 | 特編授業 | | | | | |
| 3月23日 | 水 | 特編授業 | 学年発表会 | 2 | 正副担任 | 連携先企業・大学・T A | |

※1「アジアの持続可能性に資する〇〇〇〇の研究」と題する日本語論文(2000字程度)を作成

大きくいうと、以下の4つのステップに分かれます。

- ①日本語論文をより良いものとするために、言語技術やPC操作能力をグレードアップします。
 - ②「5領域」から研究領域を1つに絞り込むために、大学教員の講義を受け、研究対象を確定していきます。
 - ③「アジアの持続可能性に資する〇〇〇〇〇の研究」と題する日本語論文を2000字程度で作成します。
 - ④日本語論文に基づき英語エッセイを作成し、同時並行で英語プレゼンテーションも作成します。
- そして、3月には英語プレゼンテーション学年発表会を開催します。

飛騨高山フィールドワーク(6月)報告書、日本語エッセイ(9月)、日本語論文(1月)、英語エッセイ(2月)の4つの作品はすべて製本して後輩たちの閲覧に供します。まずは、自分自身が満足するものを仕上げてください！